

ながの農業委員会だより

昭和56年7月20日 [第20号]

 編集 長野市農業委員会
 発行 TEL 26-4911 内線 393

おもな記事

ページ

- ②農年協議会総代会開かる
- ③冷夏にそなえ
- ④シリーズ「いりりばた」(9)
篠ノ井瀬原田「そよ風」

地域にねざした活動を

56年度事業計画決る

長野市農業委員会の第二回総会が、去る四月十五日市役所会議室において、開催されました。総会では、会長のあいさつのあと委員が改選されて初年度である昭和56年の事業計画について提案され、農用地の高度利用推進などがあり満場一致で可決されました。主な事業計画は次の通りです。

◇農地部会

①無断転用未然防止 ②植林転用の適正指導 ③農地法の改正に伴う励行指導 ④国有農地等の適正管理と売払等処分促進 ⑤開拓財産の処分促進 ⑥登記事務について ⑦農地あつせん事業による農地流動化促進

農業委員の活動などを通じ調査会等で指導の徹底を図り、無断転用未然防止と、農地転用に係る賃借を調査し、転用許可(届出)賃借人とのトラブルがないよう実施したい。なお、中核農家の育成を積極的に推進する。

◇農政部会

①農業就業改善推進事業の実施 ②高度農業総合コンサルタント事業の実施 ③農作物災害対策の推進 ④農業委員選挙人名簿登載申請の事務処理について ⑤農業委員選挙区について ⑥農業者年金の事業推進 ⑦農協組合長との懇談について

農業の体質強化が叫ばれるなかで、農業従事者より農外就労者が増えている。農業従事者を確保し、農業生産の担い手育成に力を入れます。



農業委員選挙人名簿は、毎年一月一日現在満20才以上の人で、耕作面積10a以上、年60日以上農業に従事する方に申請していただき

登録することになっているが、申告漏れのないよう指導する。

農業者年金も、経営移譲年金等受給者が増えてまいりましたが、受給にあたり支障のないよう指導し、農協、農年協議会の協力により農家の期待にこたえていきます。

◇振興部会

①遊休荒廃地の解消と農用地の有効利用及び流動化対策の実施

- ②水田利用再編第二期対策の推進
- ③農用地開発可能地の踏査及び基礎的調査研究の実施
- ④管内農業振興状況調査の実施
- ⑤農業後継者育成対策の推進

昨年改正されました農地関連三法により、農業委員会を中心として、農地政策の転換と地域の実態に

紅の実は今

真島町川合 羽生田 春樹

昭和43年、私は須坂の園芸試験場を卒業しました。

この年、我が家の紅玉は一箱五百円でした。この頃からフラン病が急速に増え始め、価格の低迷などもあったのでりんごはもうダメだと思

っていました。これから伸びるのは花卉だと考え、本場のオランダへ行

き実習生として一年間働いてきました。ところが帰国してみると、日本の花卉は不安定な要素

が多く、一方紅玉は一箱千二百円になっていました。

私はやはりりんごを作ろうと決心し、やるからには規模を拡大する必要があると思い早速土地探しを始めました。二年間探し、ようやく若槻吉地区の山林を求め、県農業開発公社にお願いして畑に造成して

①生きる上



いただく事になりました。様々な

な障害を乗り越え、昭和48年、2.5haの畑が完成、地元親戚の北村泰雄さんと分け、1.2haにりんごを植える事が出来ました。ちょうど同じ頃、市場団地が狭くなり、移転用地として落合橋上流の果樹地帯が買収されました。この中に我が家は60aのりんご園を持っていましたが、公共の為仕方なく手離しました。

真島には、この60aと借地な

即した農用地の貸し借りにより、農業に対する意欲を盛りあげていきます。

◇全般的事業

- 高速道対策研修視察
- 県内外の農業状況視察
- 情報活動
- ・農業委員会だよりの発行

総会議事終了後、農林部各課の本年度予算に基づく事業内容の説明を受けた。

- ・農業新聞の普及
- 事務研修
- ・関係法令、農業情勢の研修

ど合わせ1.8haのりんご園があり、山の畑と合わせ3haを経営してききましたが、来年からは市場の工事や植え替えのため90a減ります。

りんごの価格は一昨年がピークだったようで、生産量が増えるに従って下降していきます。我が家は消費者と直結した販売方法をとっており、五年後にくると思われる低迷期を乗り切る事が出来ると思います。

総てのふじと、大部分のつがるを個人出荷しているため、剪定から出荷の終る12月末まではほとんど暇な時はありません。しかし人間と違って植物は素直です。気楽に仕事が出来、収穫の喜びというやがれいもあります。十年余り農業の中で学んだ事は、「精一杯やること・余裕をもってやる事」この二つです。まだまだ両方がうまくかみ合いません。

「プロフィール」

彼は、両親とともに果樹専業農家としての専門知識と、強い意志・行動力で農業青年協議会、体育指導員等地域のリーダーとして活躍している。

中核農家として、今後益々の活躍を期待します。(E・M)